

事業運営ガイドライン

新型コロナウイルス感染症に関する感染防止策

岐阜県ビーチバレーボール連盟

<一般事項>

- ① 次の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる（大会当日に書面で確認を行う）
 - ア 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ウ 直近14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ② マスクを持参すること（受付や着替え等の競技を行っていない時、また会話をする際には、マスクを着用すること）
- ③ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を行うこと
- ④ 他の参加者、主催者スタッフとの距離を確保すること（できるだけ2m以上）
（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）
- ⑤ 感染拡大防止策のために、主催者が決めたその他の措置を遵守し、主催者の指示に従うこと
- ⑥ 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること

<競技（大会）運営についての留意事項および配慮すべき事項>

- ① 会場で使用する机・椅子の消毒については、使用前に必ず消毒を行うこと
- ② チームベンチについても、試合前に必ず消毒を行うこと。特に1日2試合以上開催の場合には試合間にもベンチの消毒を行うこと
- ③ チームベンチは、ソーシャルディスタンスが確保できるよう身体的距離を確保すること
- ④ 試合球はできるだけ複数個用意し、こまめに消毒を行って交換しながら使用すること
- ⑤ 線審のフラッグ、得点板、レーキ等、試合で使用する備品類のこまめな消毒など衛生対応に留意すること
- ⑥ 審判員の笛（私物）についても、唾液の付いた状態での放置を避けるなど、不慮の接触を避ける
- ⑦ 競技に直接携わる、主審・副審、スコアラー・アシスタントスコアラー、ラインジャッジ、ボールリトリバー等の担当は、感染リスクを避けるために、マスク及びフェイスシールド、ビニール製の手袋を着用することを推奨する
- ⑧ 試合前のコイントス時、キャプテンと審判間のあいさつや試合前後の握手に関して、当面は一礼などで代える形すること

- ⑨ 開・閉会式、表彰式などでは、参加者が密になる状態を避けるため、式典参加者の数を減らすなど内容を簡略化する
- ⑩ 書類等の手渡しによる感染拡大を防ぐため、書類は極力電子化して配付する（記録用紙等を除く）

（チームへの協力要請）

- ① タオルの共有やドリンクの回し飲みは絶対に避けること
- ② 試合前の円陣や、陣地での集合時においてもできるだけ密集・接触を避けること
- ③ 競技中のチーム選手同士及びスイッチ（チェンジコート）時の相手選手とのハイタッチは避け、腕のタッチにとどめる（できるだけ避けるようにする）
- ④ タオル、水ボトル、アイシングパックなどの共用は禁止する
- ⑤ 各チームで会場に持ち込む用具（練習球・トローリーなど）は、使用前後で必ず消毒を行うこと

<その他留意事項>

飲食時は以下のルールを厳守

- ① 食事中は会話を控え、また向かい合っでの食事は控える
- ② 食べ終わったゴミ等は放置せず、指定されたゴミ袋や段ボールなどにまとめ必ず持ち帰ること（ゴミ処理に関しては主催者側に確認する）
- ③ 上記は一般的な留意事項を示すも、開催地、施設管理者、岐阜県、日本スポーツ協会、日本バレーボール協会等から更なる感染防止対策の要請があった場合は、速やかにその指示に従うこと